

# Diagram を定める link 群の Wirtinger 表示

神沢・自然科学 児玉 宏晃 (Keuzi Kodama)

定義

oriented link diagram の link 群の Wirtinger 表示  
(c.f. Rolfsen [2])

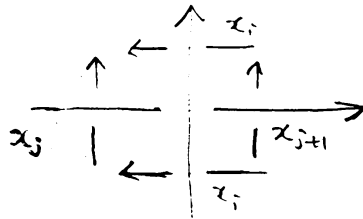
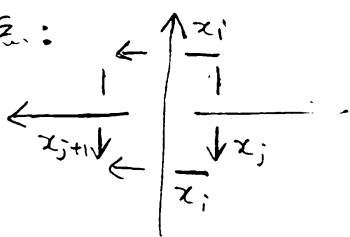
crossing を持たない trivial な component を除けば、

diagram の  $n$  個の crossing は under crossing の部分で link を  $n$  個の arc に分ける。link の component に順序をつけ、さらに link の向きに沿って arc に順序をつける。各 arc で meridian を  $x_i$  (+方向に 1 回まわるように)、arc の順序に対応させて番号をつける。-1 を  $x_1, x_2, \dots, x_n$  とする。

$\Gamma(L) = \pi_1(S^3 - N(L))$  の generator とする。

relation は各交点で次の様になる

交点:



relation:

$$x_{j+1} = x_i^{-1} x_j x_i$$

$$x_{j+1} = x_i x_j x_i^{-1}$$

この様にして link diagram から 基本群の Wirtinger 表示への対応を考えた。

以下では non-trivial, non-split oriented link の link diagram を考えた。

Waldhausen の結果 [3] より

命題.  $(S^2, L_1), (S^2, L_2)$  oriented links に対し

$$\exists \psi: G(L_1) \rightarrow G(L_2)$$

meridian longitude system を保つ同型写像

$$\Leftrightarrow (S^3, L_1) \cong (S^3, L_2)$$

これから diagram については次が言える。

命題. oriented link diagrams  $D_1, D_2$  が同じ Wirtinger 表示を持つならば  $D_1 \cong D_2$  (oriented link type が同じ)

$\therefore$ ) meridians は 群の表示の generator として出ている。

次の様にして diagram に対応する Wirtinger 表示を一般的に diagram の各 component の longitude を求めることができる

link の  $i$  番目の component  $K_i$  に対して、群表示の生成元中の  $K_i$  の meridian を  $x_1, x_2, \dots, x_l$  とする。  $K_i$  の  $n$  番目の crossing  $\tau$  の relation を

$$x_2 = x_{j_1}^{-\varepsilon_1} x_1 x_{j_1}^{\varepsilon_1}$$

$$x_3 = x_{j_2}^{-\varepsilon_2} x_2 x_{j_2}^{\varepsilon_2}$$

$$x_l = x_{j_{l-1}}^{-\epsilon_{l-1}} x_{l-1} x_{j_{l-1}}^{\epsilon_{l-1}}$$

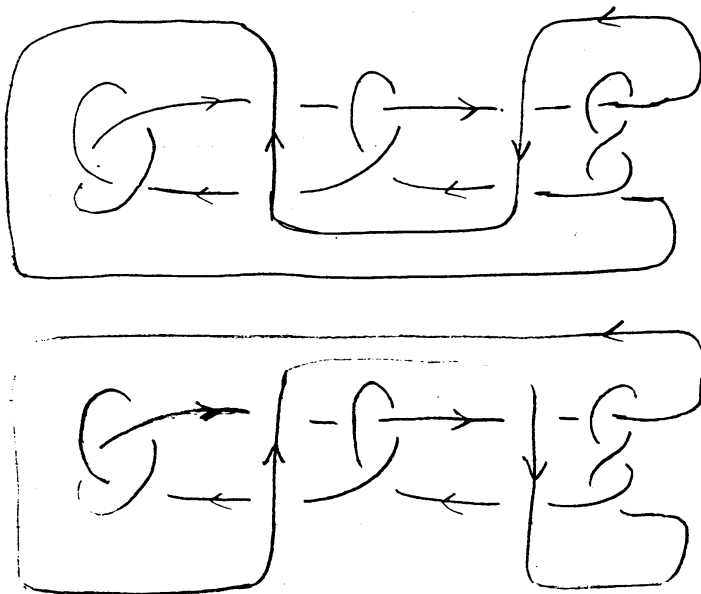
$$x_1 = x_l^{-\epsilon_l} x_l x_l^{\epsilon_l}$$

このとき  $k_i$  の longitude  $l_i$  は

$$l_i = x_{j_1}^{\epsilon_1} x_{j_2}^{\epsilon_2} \dots x_{j_l}^{\epsilon_l} x_1^{-\left(\sum_{s=1}^l \epsilon_s\right)}$$

定義  $S^2$  上の link diagram が  $S^2$  の orientation preserving homeo で 結び合う時、同値である

例、同じ Wirtinger presentation を持つが同値ではない diagram



定義. Reidemeister の moves  $(R_1), (R_2), (R_3)$  による diagram の変形を diagram の isotopy.

$(R_2), (R_3)$  による diagram の変形を regular isotopy とする

命題 (c.f. Kauffman [1])

2つの diagram  $D_1, D_2$  が isotopic かつ component 毎に writhe (交点の sign の和) が等しい。

$\Leftrightarrow D_1, D_2$  は regular isotopic

link diagram の Wirtinger presentation の relation を見るとよ、2 diagram の component 毎の writhe が分かる。

命題 oriented link diagram  $D_1, D_2$  が同じ Wirtinger presentation を持つ

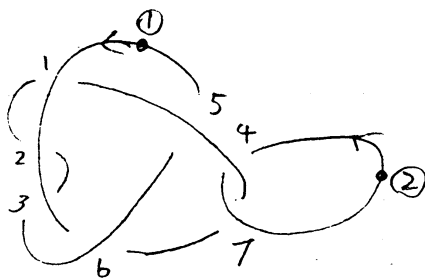
$\Rightarrow D_1, D_2$  は regular isotopic.

更に relator に順序をつける。

定義 順序付き Wirtinger presentation

link の component に順序をつける。component の順に、component 上に適宜に交点をして orientation に従って diagram をたどり overcrossing で通り時に交点に番号をつけておく。これにより交点に対応する relation に番号をつける。

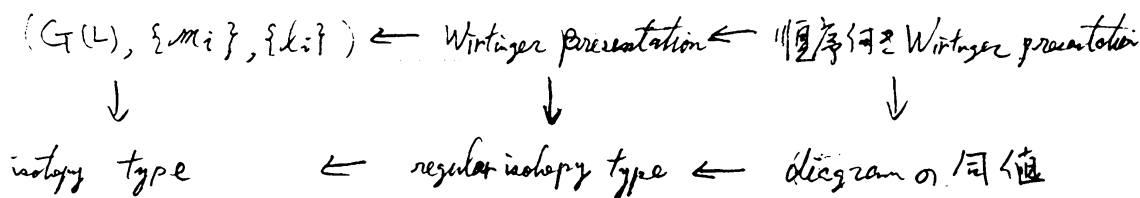
例



命題 oriented link diagrams  $D_1, D_2$  が同じ順序付き Wirtinger presentation を持つ

$\Rightarrow D_1, D_2$  は同値な diagram.

$\therefore$ ) link の regular projection を  $S^2$  上の 4-regular graph と見る。順序付きの Wirtinger presentation が与えられたとき、対応する link は  $\mu$ -component link とする。link の各 component に対応させて  $\mu$  個の  $S^1$  をとる。relation に従って  $S^1$  上は crossing point の引きもたしめる。undercrossing には generator の番号に対応して, overcrossing には generator の番号に対応して各々 "順序付き"。relation は word によって対応している undercross と overcross の引きもたしめ同一な集めて 4-regular graph を得る。この graph の  $S^2$  への embedding の頂点近傍での様子は relator によって定まっている。graph の maximal tree をとる。この tree の  $S^2$  への embedding を relation で定まる頂点での様子を満足するものは一意的。この embedding に残りの辺を加えてゆくがその加え方は一意的。この graph の embedding に上下を入れ替えてもいい。



## 参考文献

- [1] L. H. Kauffman : An invariant of regular isotopy ,  
preprint
- [2] D. Rolfsen : Knots and links , Publish or Perish Inc.  
Berkeley, 1976.
- [3] F. Waldhausen : On irreducible 3-manifolds which are  
sufficiently large , Ann. of Math. 87(1968) 56-82